

キャラクター名	プレイヤー名
久我 奏馬	

シンドローム	ハヌマーン	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	UGNエージェント
	ハヌマーン				
オプション		年齢	22	性別	男
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	35 %
出自	権力者の血統	経験	心の壁	邂逅	霧谷雄吾

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	2	1	0			3	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGN戦闘服 II		15	0	0	エフェクトを組み合わせた判定+2D

所持品		合計装甲:	15	合計回避:	0
デモンズシード		ロイス			
コネ: UGN		対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス消費
		[24] 超血統/フルブラッドP	N		
		兄/久我 謙治	P 尊敬	N 憤懣	
		妹/久我 華凜	P 慈愛	N 劣等感	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	6	残り財産P:	5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
サイレンの魔女	9	5	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	なし	
効果: 攻撃力+Lv×3&装甲値無視								
疾風迅雷	5	3	メジャー	なし	なし	対決	ピュア	
効果: ドッジ不可、Lv回/1S								
マシラのごとく	6	6	メジャー	なし	単体	対決	80%	
効果: 攻撃力+Lv×10、ダイス-5、1回/1S								
ライトスピード	1	5	マイナー	自身	自動	なし	100%	
効果: メジャー2回、C値+1、1回/1S								
スピードフォース	4	4	イニシア	至近	自身	自動	ピュア	
効果: イニシアチブにメイン、Lv回/1S								
終焉の残響	1	4	メジャー	--	--	対決	リミット	
効果: リアクション、カバーリング時のガード不能、1回/1S								
軽功	★	なし	常時	至近	自身	自動	なし	
効果: すさまじく身軽になれる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

日々上からの任務を淡々とこなす、一介のUGN日本支部のエージェント。エージェントとして自分に及ばない点があれば進んでそれを改善しようとし、必ず任務は達成する。しかし、求められる以上のことをせず、詮索もしない。その姿勢はUGNにとって都合がよく、戦闘面でも十二分な実力があるため上からは非常に重宝されている。しかし、基本的に人とは距離を置くようにしているためか、その姿勢と態度から皮肉を込めて、“role model (優等生くん)”というコードネームで呼ばれるようになった。

性格は物腰柔らかく紳士的。誰にでも親切で基本的に仲良くなるうと心がけているが、とある理由からストレートな好意を向け、本心を語り合える相手は殆どいなかった。しかし、それが自分の勝手であることも自覚しており、思っていることを顔に出さないようにも心がけていた。

その理由は彼の出自にある。

元々は日本に存在する名家のひとつである、久我家の四男であった。代々オーヴァードとしての力を受け継ぐ家系であり、奏馬はこの中でも家系の本流の力である「波動」を操る異能力を色濃く受け継いだ。しかし、恵まれたのは血統だけであり、オーヴァードとしての力はこの家の長男である久我謙治には決して及ぶものではなかった。実力だけではなく、他の兄弟と違って人格面でも優れ、父を始めとした大人達次期当主として期待されていた彼を奏馬は子供ながらに心より尊敬しており、彼の背を追いかけていた。彼がジャームとなり、行方不明となるまでは、次期当主の失踪により、それまでなんとか彼によって保たれていた一族のバランスは崩れ果て、神輿として担ぎ上げられた当主の器に能わぬ次男、家柄血統に胡座をかいて享楽を貪る長女、力を無差別に振るい強者との戦闘にしか興味のない三男……加えて、父である当主が妃との間に作った子の台頭やそれによる母の精神の磨耗、騒ぎに乗じた分家の動向など、様々な争乱と思惑に振り回された思春期であった。このような内紛に嫌気が差し、ついには久我家とは絶縁した。久我家についてまだしこりが残るとしたら…それは妹のことである。正妻の子供、本流の象徴として産み落とされ、久我を巡る身内戦争の渦中でも、決して爛漫さを失わず、揺るがない信念のもと行動する彼女は、かつての謙治の影を感じさせ、現在の奏馬にとっては唯一の親密な関係にある親類でもあり、柵から逃れた自分に劣等感抱かせる眩しい存在でもある。すべての柵から逃げるため、とある人物に手を引かれ飛び込んだのが、UGN日本支部というわけである。もう彼が家に戻ることはないだろう。

このような生い立ちから、彼は自分かどうかに関わらず人がジャーム化することを極度に恐れており、異能力を必要最低限しか使わない。そのため、力を率先し